



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 松田理事長 年頭のご挨拶!!
2. 県齋藤参事 新年のご挨拶!!
3. 県林業まつり実行委員会 開催!!
4. JAS協会長県建築住宅課長等に陳情!!
5. 木産協三役会開催!!
6. 山形城南木材市場納市開催!!



1 年頭のご挨拶!!



新年あけましておめでとうございます。2021年の年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、私たちの生活は一変し、急速に拡散したウィルス感染防止のため、世界各地で都市閉鎖を余儀なくされ、経済活動に大幅な制限が課せられました。国内でも企業の売上減少はもちろん社会的距離確保や三密回避など職場での働き方や社員間のコミュニケーションの在り方の見直しを迫られるなど中小企業の経営に甚大な影響を及ぼしています。さらに、我が国の人口は減少局面に入っており、新設住宅着工数も減少し、雇用関係の悪化や経済状況の不安などから消費者マインドが冷え込み住宅投資の環境はますます厳しくなることが予想されます。このような情勢の中、唯一明るい話題として昨年11月に前副理事長遠田勝一氏が黄綬褒章を受章したニュースは本人のこれまでの努力の成果が実り、我が業界の誇りともなりました。そのような中、当組合においても県が進める「やまがた森林ノミクス加速化ビジョン」と連携し、県産木材の加工流通体制の強化と付加価値向上に努めるため、諸活動が制限される中においても、会員の皆様の協力のもと万全の感染対策のうえで、行政との意見交換や組合関係諸会議など積極的に取り組んで参りました。年が明けても引き続き厳しい環境が予測されますが、会員皆様のご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が業界と会員の皆様にとって素晴らしい年になることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

山形県木材産業協同組合理事長 松田 賢



10月8日 知事との意見交換会

2 新年のご挨拶!!



令和3年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。皆様には、日頃より、本県の林業・木材産業施策の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内の林業・木材産業においても非常に大きな影響を受けた一年となりました。経済全体の低迷により、県産木材の需要が減少した中で、県といたしましては、住宅を含む民間施設の木造化支援について、新たに合板・集成材を対象に加え、件数を大幅に増やすとともに、集成材工場等の原木受入れ制限によ

り行き場を失った木材の一時保管経費の支援などを行ってまいりました。また、昨年より新たに開始した県産広葉樹の利用拡大の取組みにおいては、貴組合の御協力をいただきまして、広葉樹製材品の JAS 認証取得やストックヤードの整備などを進めております。

県では、今後の森林・林業・木材産業施策に関して、令和3年から10年間の計画となる「やまがた森林ノミクス加速化ビジョン（仮称）～第3次山形県森林整備長期計画～」及び同じく令和3年から4年間の農林水産業の次期再生戦略の策定作業を現在進めているところであり、こうした計画に基づき「やまがた森林ノミクス」を一層加速化してまいりたいと考えております。依然として新型コロナウイルスの影響により林業・木材業界全体の先行きが不透明な状況ではありますが、貴組合と連携しながら、様々な施策を効果的に推進し、今後とも、林業・木材産業の活性化に向け、鋭意取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって希望あふれる佳き年となりますよう心から祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

山形県農林水産部参事(兼)森林ノミクス推進課長 齋藤 潔

3 県林業まつり実行委員会 開催!!

12月11日パレスグランデール（山形市）において、令和2年度山形県林業まつり実行委員会を開催した。冒頭今井敏委員長が新任の挨拶と会議開催経緯について紹介した。コロナ禍での開催となり、会場はソーシャルディスタンス確保のため、1テーブル1名の30名参加用会議室が用意された。事務局から、今年度のまつり中止の判断など詳細な説明がされ、了承された。令和3年度第30回山形県林業まつり開催については、10月中旬頃に県運動総合公園で開催することで了承された。ただし、各感染対策等厳守し安全を確認の上、他の類似イベントの開催状況等勘案し、6月の事務局会議や7月の実行委員会で判断することとした。



4 県JAS製材連絡協議会会長、建築住宅課長等に陳情!!



12月17日県庁県土整備部建築住宅課（山形市）において、県JAS製材連絡協議会阿部知行会長が櫻井信建築住宅課長と高橋光一営繕室長に要望書を手交した。これは、県内にJAS機械等級区分認証工場が3工場（村山・置賜・最上）と整備され、県産材で品質（強度・含水率等）の証明された材の供給が可能になったことや広葉樹を含めJAS工場が県内全域に13工場となったことを公共施設等建築設計の指導的立場にある建築住宅課や営繕室担当者の皆様にPRするため、新パンフレットの配布と併せて実施した。この後、農林水産部森林ノミクス推進課にて、齋藤潔参事に同要望書を手交した。こちらでは、木造公共施設の新設や内装木質化、非公共施設の木造化、一般住宅のより一層の県産木材利用推進などについて要望した。



5 木産協三役会 開催!!

12月7日に山葵屋（新庄市）において、第3回木産協三役会が開催された。最上地域での開催はこの体制では初めてで、主に素材や製材部門の最上地域の動向とコロナ禍の影響等について意見交換がされた。また、令和3年度は役員改選の時期でもあり、事前準備として現在1名欠員状態の置賜地区についての人選や総会時までの各地域役員交代について意見交換が行われた。続いて、事務局から新たな業務委託の可能性や今年度補正予算・来年度当初予算などの概要について説明され、それぞれ積極的に取り組んでいくことで一致した。



6 山形城南木材市場 納市出席!!



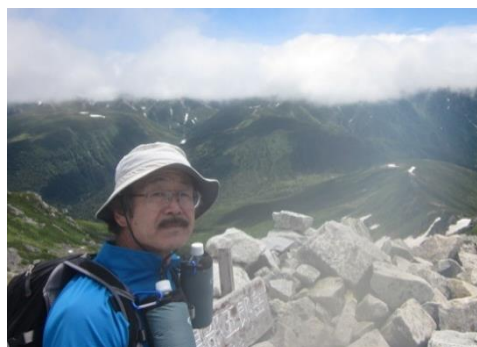
12月18日に山形城南木材市場（山形市）において納市が開催され、買い方・来賓等約30名が出席した。冒頭、安部雄祐社長がコロナ禍の中での開催となり、三密を避けるために広い倉庫内を会場とし、また恒例の餅つき体験等を中止するなど、新たな生活様式に合った納市になったことについてお詫びするとともにこの一年間の来場者への感謝が伝えられた。来賓の挨拶も代表して県森林ノミクス推進課土屋隆一林業振興主幹のみとし、例年より短時間で式典も終了した。その後納市が始まり、セリ売りスタートは今年度から本格的に始めた広葉樹材のセリから大声で始まった。県では、来年度この会場で広葉樹利用拡大プロジェクト事業を計画している。

7 日本百名山シリーズ紹介（黒部五郎岳）

北アルプス中部黒部川源流部に位置する百名山黒部五郎岳(2,840m)。近くにある野口五郎岳など五郎という呼び名はカール等に残るゴロゴロした岩をゴローと呼んでいて、歌手の芸名もこの山から取ったと山小屋で聞いた。この山は日帰りではたどり着けない奥地にあり、富山県側折立か岐阜県側新穂高温泉を登山口とし、標高差も行程距離も半端無い健脚者向けコースとなります。しかしながら、鏡平からの槍穂高連峰の



眺めやお花畑、生息密度の高い雷鳥が疲れを癒してくれる。この山は人気の雲ノ平を中心とする西銀座ダイヤモンドコース（薬師岳、鷲羽岳、水晶岳、双六岳、槍ヶ岳等）の一座となっている。赤い三角屋根の黒部五郎小屋からは、なだらかな黒部カールを歩きながら、花や雷岩など楽しみつつ山頂直下まで進む。そこからカールの右壁を急登し尾根に出ると、間もなく360度絶景の黒部五郎岳山頂にたどり着く。



8 1月以降の行事予定

日 程	行 事 名	出席予定者
1. 5	御用始め	専務
1. 6	しあわせウッド賞審査会	県庁 701 会議室
1. 8	山形城南木材市場初市	山形市
1.13	酒田飽海支部木材輸出打ち合わせ	酒田港木材会館
1.22	森林の仕事ガイダンス	ビックウィング
		阿部副・専務 理事長等

9 県からのお知らせ

令和2年12月20日
山形県新型コロナウイルス
感染症に係る危機対策本部

県民の皆様及び事業者の皆様への取組みの依頼

- 1 県民の皆様には、感染リスクが常に身の回りにあるという意識を持っていただき、マスクを正しく着用する、こまめな手洗い、消毒、適切な換気、身体的距離の確保など、基本的な感染防止対策である「新・生活様式」を徹底していただくようお願いします。
- 2 発熱などの症状がある時は、ご自身の健康はもとより、周囲の方の健康を守るため外出を控え、最寄りの医療機関にご相談をお願いします。加えて、職場でも体調がすぐれない方には、早期の受診を促すようお願いします。
- 3 帰省などの移動はできる限り慎重をお願いします。なお、北海道、首都圏、中部圏、関西圏、沖縄県などの感染が拡大している地域との間の移動は、特に、慎重をお願いします。電話やオンラインを活用して家族・親戚、友人等とのコミュニケーションを図るようお願いします。
- 4 忘年会・新年会などの会食は、普段一緒にいる人と、少人数・短時間で、行くことを基本とし、会食時の会話の際にはマスクを着用する、業種別の感染拡大予防ガイドラインを遵守している飲食店を利用するなど、感染リスクを下げる対策を徹底するようお願いします。
感染リスクを下げる対策がとれない場合には、会食に代えてテイクアウトの利用などを検討してくださるようお願いします。
重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方は、ご自身の命と健康を守るために飲酒を伴う会食は控えてくださるようお願いします。
- 5 施設や店舗を運営する事業者の皆様は、感染防止策を徹底してください。特に、感染者が多発している業種の事業者の方は、感染拡大予防ガイドラインを遵守し、利用客に対しても感染防止策の徹底をお願いします。
なお、飲酒を伴うカラオケは控えてくださるようお願いします。

10 令和2年度第3次補正予算（林野庁・資源エネルギー庁）

合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策＜一部公共＞

【令和2年度第3次補正予算額 36,265百万円】

＜対策のポイント＞

木材製品の国際競争力の強化、新たな農林水産物の輸出目標の達成に向けて、加工施設の大規模化・高効率化、他品目への転換や木材製品の付加価値化等を支援するとともに、**路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、間伐材生産等**を支援します。さらに、非住宅分野等における**木材製品の消費拡大や新技術の実証**とともに、**輸出先国のニーズに対応した性能検査・実証、販売力強化**を担う経営者層の育成などを支援します。

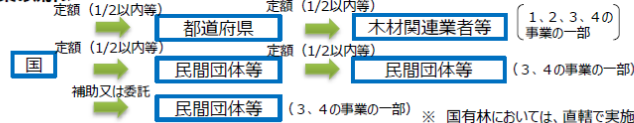
＜政策目標＞

国産材の供給・利用量の増加（30百万㎡〔平成29年〕→40百万㎡〔令和7年まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. 木材産業国際競争力強化対策** 14,701百万円
①**木材産業の輸出促進・体質強化対策** (3、4の事業の一部事業費を含む)
合板・製材・集成材工場等が行う**輸出拡大に資する高付加価値化、大規模化・高効率化**（省人化・省力化等）**コロナ対策に資する施設導入を含む**、**他品目転換等**を支援します。
②**原木の低コスト供給対策**
大径材を含む原木を低コストで安定的に供給するため、**路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入や間伐材生産等**を支援します。
- 2. 森林整備事業＜公共＞** 15,800百万円
幹線となる林道の整備と搬出間伐等を実施し、原木を低コストで安定的に供給します。
- 3. 木材製品等の輸出支援対策等** 870百万円
輸出拡大にも資する**販売力強化に向けた人材育成や労働安全衛生対策の強化**の取組を支援します。また、**輸出先国のニーズ・規格等に対応した製品開発や性能検査・実証、輸出先国への重点プロモーション活動、きのこ等の生産施設整備等**を支援します。このほか、輸出する木材の**合法性確認システム構築のための調査等**を実施します。
- 4. 木材製品の消費拡大対策等** 4,894百万円
非住宅分野等の外構部も含めた**木造化・木質化等**を推進します。伐採・造林作業の**自動化・遠隔操作技術の導入・実証、木質燃料の品質向上に資する施設整備等**を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】 林野庁計画課 (03-6744-2300)

カーボンニュートラルに向けた革新的な技術開発に対する継続的な支援を行う基金事業（仮称）

令和2年度第3次補正予算案額 2.0兆円

事業の内容

事業目的・概要

- 2050年までのカーボンニュートラル目標は、「今世紀後半のなるべく早期」という従来の政府方針に比べ大幅な前倒しで、現状の取組を大幅に加速することが必要です。
- 当該目標に向け、我が国の温室効果ガス排出の約85%をエネルギー起源CO2が占めていることを踏まえ、エネルギー転換部門の変革や、製造業等の産業部門の構造転換を図るため、革新的技術の早期確立・社会実装を図ります。
- 2050年までに、新たな革新的技術が普及することを目指し、今後策定されるグリーン成長戦略の「実行計画」を踏まえ、具体的な目標年限とターゲットへのコミットメントを示す企業の野心的な研究開発を、今後10年間、継続して支援します。

成果目標

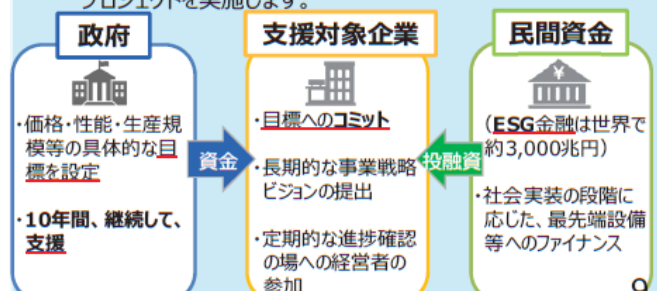
- 政府資金を呼び水として、民間企業の研究開発・設備投資を誘発することが見込まれます。また、世界で3,000兆円規模のESG資金を国内の事業に呼び込み、経済と環境の好循環を実現します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

- NEDOに基金を設け、具体的な目標年限とターゲットへのコミットメントを示す民間企業等に対して、今後10年間、継続して支援を行うことで、革新的技術の早期確立・社会実装を図ります。
 - カーボンニュートラル社会の実現に必須となる3つの要素、
 - ① 電化と電力のグリーン化（次世代蓄電池技術等）
 - ② 水素社会の実現（熱・電力分野等を脱炭素化するための水素大量供給・利用技術等）
 - ③ CO2固定・再利用（CO2を素材の原料や燃料等として活かすカーボンサイクルなど）
- 等の重点分野について、社会実装につながる研究開発プロジェクトを実施します。



11 住宅着工状況

令和2年11月期の県内新設住宅着工戸数は380戸となり、対前月比86.2%、対前年同月比79.2%、前年累計比は87.5%となり、何れも減となった。全国的にも1割減で推移しており、コロナ禍の中では比較的平穏ではある。県内では天童市・東根市・酒田市が増加傾向。

1 県内新設住宅着工戸数(令和2年11月)

(単位:戸)

年 月	総 数	利用関係別				資金別		木 造 住 宅		木 造 内 訳		
		持 家	貸 家	給与住宅	分譲住宅	民 間	その他	戸 数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
11月	480	223	196	2	59	479	1	438	91.3%	348	11	79
31.1月～11月	5,312	2,560	1,788	27	937	5,248	64	4,311	81.2%	3,066	102	1,143
12月	443	216	119	0	108	438	5	386	87.1%	292	8	86
02.1月	220	105	66	0	49	219	1	191	86.8%	143	5	43
2月	425	209	158	1	57	424	1	352	82.8%	204	13	135
3月	414	281	74	0	59	410	4	388	93.7%	295	6	87
4月	543	295	185	0	63	528	15	489	90.1%	328	12	149
5月	367	233	77	1	56	364	3	326	88.8%	264	5	57
6月	456	292	92	0	72	447	9	412	90.4%	329	8	75
7月	456	251	118	0	87	451	5	416	91.2%	304	4	108
8月	540	296	201	3	40	534	6	480	88.9%	304	10	166
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
対 前 月 比	86.2%	92.2%	69.8%	—	89.5%	85.7%	112.5%	80.6%	—	83.4%	33.3%	75.3%
対前年同月比	79.2%	110.8%	41.3%	50.0%	86.4%	77.5%	900.0%	75.8%	—	75.3%	27.3%	84.8%
31.1～当月計	5,312	2,560	1,788	27	937	5,248	64	4,311	81.2%	3,066	102	1,143
02.1～当月計	4,649	2,737	1,254	7	651	4,582	67	4,164	89.6%	3,036	82	1,046
対累計前年比	87.5%	106.9%	70.1%	25.9%	69.5%	87.3%	104.7%	96.6%	—	99.0%	80.4%	91.5%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和2年11月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累 計	前年比	累計比	木造累計
県 計	380	4,649	79.2%	87.5%	4,164
山 形 市	75	1,255	52.8%	72.7%	1,020
上 山 市	10	86	166.7%	85.1%	82
天 童 市	40	420	190.5%	101.0%	379
山 辺 町	3	47	75.0%	85.5%	44
中 山 町	4	35	133.3%	71.4%	34
東南村山	132	1,843	75.0%	78.5%	1,559
寒河江市	21	250	61.8%	108.7%	246
河 北 町	2	67	100.0%	163.4%	67
西 川 町	0	1	0.0%	20.0%	1
朝 日 町	0	12	—	300.0%	11
大 江 町	1	12	—	60.0%	12
西 村 山	24	342	64.9%	114.0%	337
村 山 市	2	53	40.0%	75.7%	51
東 根 市	58	485	322.2%	153.0%	410
尾花沢市	1	26	100.0%	70.3%	24
大石田町	4	16	—	800.0%	16
北 村 山	65	580	270.8%	136.2%	501
村山地域	221	2,765	93.2%	90.0%	2,397
新 庄 市	7	102	58.3%	56.7%	101
金 山 町	0	3	—	50.0%	3
最 上 町	0	12	—	200.0%	12
舟 形 町	1	16	100.0%	200.0%	14
真室川町	0	13	—	260.0%	12

市町村	着工数	累 計	前年比	累計比	木造累計
大 蔵 村	0	3	—	42.9%	3
鮭 川 村	0	7	—	116.7%	7
戸 沢 村	0	0	—	0.0%	0
最上地域	8	156	61.5%	69.3%	152
米 沢 市	19	268	18.8%	49.2%	247
南 陽 市	6	142	75.0%	106.0%	125
高 畠 町	10	96	76.9%	97.0%	93
川 西 町	2	27	40.0%	40.3%	25
東南置賜	37	533	29.1%	63.1%	490
長 井 市	17	154	85.0%	151.0%	151
小 国 町	0	14	0.0%	116.7%	13
白 鷹 町	4	26	200.0%	92.9%	26
飯 豊 町	2	20	200.0%	125.0%	20
西 置 賜	23	214	95.8%	135.4%	210
置賜地域	60	747	39.7%	74.5%	700
鶴 岡 市	41	494	89.1%	111.3%	453
三 川 町	2	29	20.0%	85.3%	29
庄 内 町	3	47	150.0%	79.7%	45
田 川	46	570	79.3%	106.1%	527
酒 田 市	43	386	215.0%	85.6%	366
遊 佐 町	2	25	200.0%	108.7%	22
飽 海	45	411	214.3%	86.7%	388
庄内地域	91	981	115.2%	97.0%	915

注:累計は令和2年1月～